

地域支援だより

平成27年11月20日

第58号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

「高等部卒業後は、どんな生活をしているの？」

【過去3年間の本校高等部卒業時の進路先】

卒業年度	一般就労	施設利用		医療施設	在宅 ・その他	進学	合計
		通所	入所				
24	0	8	1	3	1	0	13
25	0	4	1	2	0	0	7
26	0	4	3	3	3	1	14

次に挙げた7つの例は肢体不自由特別支援学校高等部卒業後の生活（進路）の具体的なイメージです。（いくつかのパターンを組み合わせることで構成したもので実例とは限りません。）進路指導の参考にしてください。

一般就労

ショッピングモール事務部でチラシやポップ作り等を担当している。
（*高等部卒業時に就職という例は少なく、専門学校等を経て就職するケースが多い。）



施設利用(通所) 1

家族の送迎で就労継続支援B型事業所に通い、仲間と一緒に製菓やリサイクル等の作業を行っている。



施設利用(通所) 2

施設の送迎車を利用して生活介護事業所に通い、歌や運動を楽しんだり、食事や入浴のサービスを受けたりしている。他の生活介護事業所を併用している。



施設利用(入所)

施設に入所し、レクリエーション等の活動を楽しむほか、リハビリを受けるなど、自分に合ったペースで生活している。



医療施設

常時医療的な配慮が必要であるため、病院で生活している。自分の好きな創作活動やレクリエーション等の活動を楽しみにしている。



在宅

病気等のため通所が難しく、自宅で入浴サービスや看護サービスを受けている。



進学

大学に進学し、様々なサポートを受けながら、目標をもって勉学に励み、友達との関わりを楽しんでいる。



高等部 自立活動「表現」



色、音、香り…、ドリップの瞬間を真剣に見ています。

高等部Ⅲ類型の合同自立活動「表現」では今年度、自立活動の「環境の把握」に重点を置き、目標を次のようにして授業づくりをしています。

- ・ 感覚をとおして、香り・感触・色などの特性を知ること、生活上身近な物事に対する興味、関心をもつ。
- ・ 繰り返しの活動から、素材を介した働き掛けを予期し、期待する気持ちを動作や表情、発声等で表現する。

9月からの題材では「コーヒー」を取り上げています。生徒たちは、コーヒー豆が粉、コーヒーと形態が変わることで香りの変化に気付き、「粉の方がいい香り」「どこかでかいたことがあるよ」というように目を大きく見開いたり、「もう一回かいてみたい」と口を動かしたりしています。ドリップする様子を目を離さず注目し、いれたてのコーヒーの湯気と香り確かめるときは、笑顔になったり「飲んでみたい」というように口を動かして伝えたりする生徒もいます。毎日の生活でコーヒーの香りに出会ったときに、「これ知ってるよ」「かいてみたい」などの気持ちを自分から伝え、関わる人との会話が始まってほしいと考えて授業づくりをしています。

会話の「きっかけ」をたくさんもっていることと、確実に発信する力がコミュニケーション豊かな生活に結びつくと考え、「きっかけ」と会話を積み重ねる力をもって高等部を卒業できるように、学習に取り組んでいます。



いれたてのコーヒーの香り確かめたり、日常生活での経験を思い出したりしながら、先生たちとの会話を広げます。

教育専門監のコーナー「一人一人の豊かなコミュニケーションを育むために」

豊かなコミュニケーションのポイント

ポイント①『双方』であることがポイント

コミュニケーションとは、受け手と伝え手の双方がいて成り立つ、『双方向』の意思の疎通のことを意味します。

ポイント②[非言語的なコミュニケーション手段の活用]

表情・顔色・視線・呼吸・身振り・体の姿勢なども、大切なコミュニケーション手段です。

ポイント③[共感的な理解]

相手の立場に立って理解するように努める、共感的な理解がとても大切です。

周囲の情報や働き掛けをたくさん経験できるように

空腹感、揺れを感じる等の体の内部の変化を感じる段階

皮膚感覚や味覚等の直接的な情報を感じる段階

視覚や聴覚等の距離のある情報を感じる段階

受容しやすい感覚を活用し、たくさんの周りの情報を自分に取り込んでいくことで、より多くの情報を受け止めていくようになっていきます。

コミュニケーションの発達ステップ

注意→予測→意味理解→応答

第一段階 情報や働き掛けに注意を向ける①

聴覚、視覚等の五感や前庭感覚等の感覚器官から情報や働き掛けに気付く。

①この感覚

好きかも！！
(歌に注意を向ける。)

第二段階 情報や働き掛けを予測・期待する②

受け取った情報や働き掛けを記憶し、記憶した情報・働き掛けを思い出して、予期することができる。

②もう一回

やってほしいな。
(予期、期待する。)

第三段階 情報や働き掛けの意味を理解する③

情報や働き掛けがどのようなもので、どのような意味をもつのかわかる。

③これは先生がかけ

てくれている歌かな？
(意味を理解する。)

第四段階 刺激や働き掛けに応答する④

情報や働き掛け(問い掛けや呼び掛け等も含む)に対して何らかの手段で応答する。

④「あー！

(声を出してみよう。))
(応答する。)

コミュニケーションの基となる認知能力は

「注意する力」、「聞く力」、「見る力」の3つの力です。

注意する + 聞く + 見る

参考資料：広島県立福山特別支援学校 自立活動部編「自立活動ガイドブック 4版」

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢 3 番 127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018 (889) 8573 FAX：018 (889) 8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

